

2026年4月28日

DENSO KOBELCO SARD GR Supra  
第2戦富士、剛毅果断に勝利へ突き進む!



SUPER GT 第2戦富士レポート



2026 SUPER GT 第2戦「FUJI GT 3Hours RACE GW SPECIAL」(5/3-4)  
富士スピードウェイ(1周4.563km)

■ 事前情報

開幕戦岡山では最後まで諦めない走りで攻め続け、5位フィニッシュを果たしたDENSO KOBELCO SARD GR Supra。第2戦の舞台は恒例のゴールデンウィーク開催となる富士スピードウェイ。5月3日(祝・日)午前公式練習、午後ノックアウト方式(Q1、Q2)の公式予選、4日(祝・月)決勝は14時スタート。レースは3時間の時間制で争われ、給油を伴うピットストップは2回が義務付け。フルで約118周ほど周回すると見込まれる。1人のドライバーの最大運転時間は2時間まで。サクセスウェイトは現獲得ポイントの倍となる12kgを搭載する。重量増による富士でのタイムの落ち込みは、12kgだと約0.2秒弱。タイヤの持ち込みセット数は、ドライ6/ウェット8セット(うち1セットはヘビーウェット対応用)で決勝スタートまで使うドライのマーキングは6セットとなる。



本大会では公式画像にDENSO KOBELCO SARD GR Supraが描かれるなど期待は高く、シリーズの中でも最も観客動員数の多いイベント。GT500クラスではストレートエンドでの最高速度は約300km/hに達し、約1.5kmの世界屈指のロングストレートからのTGRコーナー(T1)でのブレーキング争いが見物。パッシングポイントとなるコココーラコーナー(T3)、ダンロップコーナー(T10)での先陣争いも迫力があり、見所の多いダイナミックなサーキット。標高は約580mで高低差は40mあり、山麓に位置することから天候の行方も注意したいところ。今回は長丁場の3時間レースであり、各チームとも高度で緻密な戦略と、それを遂行するチーム総合力が要求されるが、天候や運も味方につけたいところ。脇阪寿一監督のもと、チーム一丸に意志を強く持ち、迷い無く思い切って決断し、剛毅果断に勝利へ向かって突き進んでいく。

■ Partners

TOYOTA

WAKOS

KOBELCO PROJECT 120

SDG

OMP

KOBELCO STEELERS

GAZOO Racing

豊田自動織機

UNIVANCE

LS LS-CORP.JP

MZ MECHANICAL WEAR

GAZOO

DENSO

JTEKT

INOS

TONE

MAKE WINNER

KOBELCO

豊田合成

transcosmos digital technology

Mizuno

UNIMAT LIFE

TGR-D

TOYOTA FINANCIAL SERVICES

報日サービス

ENKEI

admic

BRIDGESTONE

豊田通商

小松開発工業

hp

■情報参照先

●サード公式ウェブサイト : <https://www.sard.co.jp>



[X](#)

[Facebook](#)

[Insta](#)

[threads](#)

[YouTube](#)

●SUPER GT : <https://supergt.net/jp>



■本リリースに関するお問い合わせ先：チーム広報担当：宮本 e-mail: [media@sard.co.jp](mailto:media@sard.co.jp)

**SARD**

株式会社 サード

〒473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根50  
TEL. 0565-53-1166 FAX. 0565-52-5482

[www.sard.co.jp](http://www.sard.co.jp)